

国内最古の青銅鏡鑄型

名前【 】

① このたび福岡県春日市の須玖タカウタ遺跡で、国内最古となる青銅鏡鑄型の破片は、いつごろのものですか？

② 須玖タカウタ遺跡や青銅器に関する次の文の()に適する言葉を入れなさい。

この遺跡は、中国の歴史書「魏志倭人伝」に登場する()の中心部にあり、()の一大拠点として知られる。
青銅器の中でも、鏡は所有者の()を象徴する希少品で、古い鏡はこれまで朝鮮半島や中国からの()に限られると見られていた。

③ この鑄型が発見されたことから、どんなことが考えられますか？

④ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

NIEワークシート／中学生～高校生／社会、総合的な学習

福岡・春日の遺跡

福岡県春日市教育委員会は27日、市内の須玖タカウタ遺跡で、国内最古となる紀元前2世紀ごろ(弥生時代中期前半)の青銅鏡鑄型の破片が見つかったと発表した。これまで鏡の国内生産は紀元後1世紀ごろから始まったと見られていた。この破片は、中国の歴史書「魏志倭人伝」に登場する奴国の中心部にあり、青銅器生産の一つだった鑄型の破片は、これまで鑄型も見つかっていないからと考えられていた。須玖タカウタ遺跡からは、多鈕鏡の破片が複数見つかった。多鈕鏡は国内で初めて見つかったタイプ。鑄型は線が粗く、朝鮮半島製を模倣したとみられる。

破片発見 紀元前に生産技術か

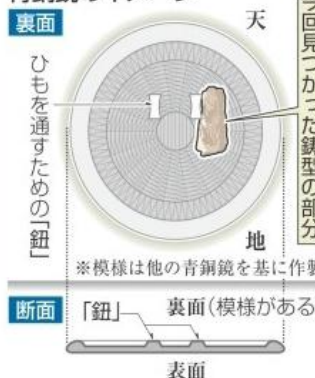
ついでに、この破片が、朝鮮半島から伝来したと考えられていた



「多鈕鏡」の鑄型の破片が出土した須玖タカウタ遺跡の土壌(2014年6月、福岡県春日市)(春日市教育委員会提供)



見つかった鑄型で製作された青銅鏡のイメージ



須玖タカウタ遺跡で出土した「多鈕鏡」の鑄型の破片

多鈕鏡 裏面に幾何学的な模様(施)が施され、ひもを通すための「鈕」が二つ以上ある。青銅鏡で、朝鮮半島や中国東北部で作られた。紀元前4世紀より前に製作された。模様の線が粗く、多鈕鏡(たぢゅうきょう)を祖型とし、紀元前4世紀～同2世紀ごろに細い線で模様を施す「多鈕細文鏡(たぢゅうさいもんきょう)」が朝鮮半島で考案された。

